



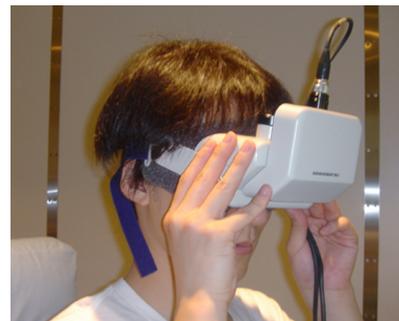
3.4

2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

小野 圭昭
附属病院
障がい者歯科

目の反応を利用して物の味を客観的に評価する

体性感覚や特殊感覚、および精神状態などを客観的に評価する試みが様々なされています。その中で、特殊感覚である味覚については、現在の検査方法では、その判定基準がその人の主観に依存するため、その日の体調および精神状態、個々の人の嗜好などの影響を受けます。そのため、個人間さらに同一人物内においても味覚感覚量を客観的に評価することができません。そこで、瞳孔反応を用いると自律神経機能が評価できることに着目して、瞳孔反応を用いて味覚感覚量を客観的に計測し、それぞれの味覚を客観的に評価することを目指して研究を行っています。



message

色々な物の味が数値化でき比較できるようになればと思います。